



呉で輝く若者たち

vol.120

ほんだ
こたろう
本田 虎太郎 さん

プロフィール

27歳。和菓子職人。御菓子処本田の3代目。仁方地区在住。高校時代は野球部に所属。ポジションはセンター。呉の好きな風景は、灰ヶ峰から見下ろす呉の街並み。

高校卒業後、広島市の和菓子屋で経験を積み、約5年前に実家の和菓子屋に帰ってきました。和菓子づくりに情熱を注ぐ家族の背中を見て育ち、自然と後を継ぐ決意が出来ていたといいます。

「祖父と父、3代で一緒に働けるタイミングで呉に帰ってきました。二人から味を学ぶには今しかないと思ったんです」と話します。

すべて手作りにこだわり、創業当時からほとんど材料を変えていないそう。特に、看板商品のカス

「昔ながらの手作りの和菓子を楽しんでほしい」

そう語るのは、仁方地区に60年以上前からお店を構える、老舗和菓子屋の3代目、本田虎太郎さんです。

「和菓子の良さは味はもちろん、季節の移ろいを感じられる」と。年々、四季を感じづらい気候になつていますが、和菓子が季節を教えてくれますよ」とにっこり。

店頭には、桜餅やいちご大福、柿しぐれなど、季節感のある和菓子が並んでいます。

「とにかく呉は人が優しい。いつも優しく声をかけてくれるので、安心して和菓子づくりができると思います。これから、その恩返しをしていきたい」

そういう本田さん。

「そう決意を語る本田さん。今日も心を込めて、和菓子づくりに励みます。

「この味を信頼して足を運んでくれるお客様に、これからも応えていきたい」と本田さんは話してくれました。

テラはほんのりした甘みとしつりした食感が特徴で、材料を変えると同じ味を出すことが難しいとあります。



スマホやタブレットでQRコードを読み取ると動画を視聴できます。



**UD
FONT**

見やすく読みまちがえにくく
ユニバーサルデザイン
フォントを採用しています

■再生紙を使用しています
■QRコードは株式会社デン
ソーウェーブの登録商標です

10言語対応「市政だより くれ」デジタルブックで配信中！



○ブラウザでもアプリでも、スマホやタブレットで読める
○文字サイズを調整できる
○動画や写真も楽しめる
○10言語で読める・聞ける（音声読み上げ対応※）



【対応言語】

日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）
韓国語、タイ語、ポルトガル語（ブラジル）
スペイン語、インドネシア語、ベトナム語
※ベトナム語は音声読み上げに対応していません。

無料 FREE APP



・ブラウザ版は音声読み上げには対応しておりません。音声読み上げには、無料アプリ（カタポケ）のインストールが必要です。

編集・発行

呉市役所 秘書広報課

〒737-8501 広島県呉市中央4丁目1番6号 代表 ☎ 25-3100 秘書広報課 ☎ 25-3236

市政だより 令和8年2月号